

平成 21 年 3 月 29 日

第 8 回検討会の各グループファシリテーターによる 全体会への報告を踏まえての論点整理

第 8 回検討会・グループ作業の報告より論点を抽出。
この論点整理を踏まえ、今回、第 9 回検討会の分科会のテーマを設定。

【被災地との関わり】

- ボランティア活動のルール作り、マニュアル作り、形式づくりから質の向上への取組の転換
- (中長期的な視野を持つての) ボランティアニーズの把握方法
- 災害ボランティアセンター設置の自己目的化 (手段の目的化)
- 災害ボランティアセンターの設置・運営・体制
- 復興も視野に入れた災害ボランティアセンターのデザイン・設置・運営
- 自治会などの地縁組織、専門ボランティア、市区町村や都道府県の災害対策本部などとの連携
- 災害時のボランティア活動における協働の対象、協働に関する具体像・共通認識の形成
- ボランティアバスの運行にあたって留意すべき内容
- 避難所・仮設住宅支援など分野別・専門的・技術的課題
- 災害対策本部への参画に関する制度の裏打ち

【人材育成】

- ボランティア活動の多様化を踏まえ、防災ボランティア活動に関する整理が必要
- ボランティア活動の「情 (「かけがえのない命」「一人一人が大切」等)」を伝える場の必要性、そのための教育、研修の重要性
- 人材育成等へ、最も大切な現場の声、被災者の視点に立った活動を反映させる方策
- 教育の問題、普段の活動 (と関連させるなどの工夫)
- 避難所・仮設住宅支援、現場での作業など分野別・専門的・技術的課題

【広域連携】

- 首都直下地震など大規模災害に関するボランティア活動に係る事前のプログラムの検討
- 大都市部での災害、県域を超える規模の災害への対応に関する検討
- 首都直下地震など大規模災害時のボランティア活動に関する検討 (情報通信技術の活用など)
- 広域災害への対応に関する制度の裏打ち

【安全衛生】

- 過去に一旦、安全性などの観点からボランティア活動の範囲として適当でないとの共通認識が形成された産業施設、商業施設等における活動に関する再検討
- 安全衛生、現場での作業など分野別・専門的・技術的課題
- 防災ボランティア活動に関する安全衛生を担保する仕組み

【その他】

- 災害ボランティアセンターの財政に関し課題が存在
- 活動資金の確保に関する制度の裏打ち
- 情報通信技術の活用・コンテンツのあり方

(整理の考え方) 各グループのファシリテーターの方が午後の全体会において報告を行われた際の内容をベースに論点整理を行ったもの。